

社会で活躍するためのICT活用法

～18歳成人化を控えて～

子供と大人「成人」の違い

- ・子供は、感情抑制が出来ない
- ・成人は、子供よりも感情抑制が出来る
- ・協調性が有るか無いか → 「心の未熟」
- ・選挙ができるかできないか → 政治参加
- ・社会常識をしらない「子供」

社会で活躍する方法とICT

- インターネットを使い需要と供給を分析します。



ICTを使い効率化「マルチタスク」



「需要や供給に素早く応える」

※娯楽の需要が増えている

需要を集める、分析

- インターネットを使う世代は若い人が多い。
- 統計などの能力が必要である。
- snsでの拡散

これには、問題が //

供給する方法

- Snsでofsを作る。
- CMを使う→インターネット広告→放送枠を使う
- インターネットストアを使う

※アマゾンなど

需要したいけど

•インターネットモラルが悪い



小さい頃からモラルの学習をすべき



インターネットモラルの講話
すでに授業が開始されている

1 班の提供

- 学校側や政府側に危険が身近にあることを教えてほしい。



アプリなどを使い疑似体験的授業の要求



タブレットの普及をして授業に取り入れる

成人することのメリットとデメリット

2班

メリット

- ・自由になる

デメリット

- ・責任や義務を負う

社会で活躍することの意味

活躍している人のイメージ

(結論)人のために努力すること

・人に感謝されることをする

・社会に貢献する

成人と社会人の違い

成人 法律で定められた年齢に達した人

社会人 社会の利益のために努力する人

社会におけるICTの役割

(**結論**)より効率的に人と人をつなげる役割

そのために必要な能力

・**情報収集能力** ・**行動力** ・**思いやる力** ・**協力する力**

社会人に必要な ICT 活用法

ICT用の免許を作り、安心安全なICT利用を目指す。

はじめに

3班

社会に出るとは何か

=大人になるということ

大人になるためにはどんなことが必要か

社会で活躍するとは？

- 社会の中で結果を残すということ

結果を残すためにどうすればよいか

活躍をする理由を見つける



活躍をするための過程を考える



活躍の結果として成果を挙げる

活躍をするためにICTはどのように関わるか

Youtube, Twitter, LINEなど



どんなことでも知ることができる
どんなことでも発信することができる

活躍をするためにICTはどのように関わるか

Yahoo知恵袋,Peatixなど



知りたいことを知ることができる

ICTを使う上での危険な点

- SNSでのいじめがおきる
- なりすましがおこなわれる
- 自分の情報がネット上で広まる
- 誤った情報が流れている

これらの可能性がある

ICTを使う上で私たちができる対策

- 情報の信憑性を確かめる
- 個人情報アップしないように気を付ける
- 情報を拡散する前にその情報の真偽を問う

政府,行政に期待する対策

- 通報機能の強化
- 人が不快になるような言葉の規制
- ほんの少しの検閲ができるようになる

提言

情報発信側に対する規制を設ける